

## 福音に、十分に生かされ

(コロサイ1:3~14)

### 一、エパfrasにより

コロサイは、当時アジア州と言われた地域にあった都市で、ほとんどが異邦人でしたが、ユダヤ人も住んでいました。紀元六〇一六一年頃に大地震があり、町は壊滅的な被害を受け、その後復興することはなかったようです。コロサイ人への手紙には地震とその後の壊滅的な被害について書かれていないので、この手紙が出されたのは大地震の前ということになります。パウロによってこの手紙が出された時、コロサイの教会、すなわちイエス・キリストを信じる群々には多くの異邦人キリスト者が連なっていました。彼らはどのようにして信仰に入ったのでしょうか。七節をご覧ください。〈これはあなたがたが私たちと同じしもべである愛するエパfrasから学んだとおりのものです。彼は私たちに代わって仕えている忠実な、キリストの仕え人であつて、〉と書かれています。コロサイの教会の主立った人たちは、エパfrasの伝道によって救われたことが分かります。そして、コロサイの教会の様子について、パウロはエパfrasから報告を受け、把握していたようです。八節です。〈彼は私たちに、御霊によるあなたがたの

愛を知らせてくれました。〉とあります。四節もそうです。〈それは、キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対してあなたがたが抱いている愛のことを聞いたからです。〉そういうわけで、パウロ自身はコロサイの教会員と面識がなかったようです。なぜなら、コロサイの教会に行ったことがなかったからです。そのことが、2章1節に書かれています。〈あなたがたとラオデキヤの人たちと、そのほか直接私の顔を見たことのない人たちのためにも、私がどんなに苦闘しているか、知ってほしいと思います。〉と。では、エパfrasはどんな人だったのでしょうか。彼は、コロサイ出身の異邦人だったようです。4章12節に〈あなたがたの仲間の一ひとり、キリスト・イエスのしもべエパfrasが、あなたがたによくと言っています。〉と書かれているからです。エパfrasはパウロの伝道によって、イエス・キリストを信じて救われたようです。そして、自分の出身地に戻って、キリストの善き知らせを伝えたくてです。

### 二、伝道の原動力は何か？

それにしましても、エパfrasはすごい人だと思えます。何せ、郷里のコロサイに戻って神の言葉を伝え、すなわちキリストの善き知らせを伝え、群を形成し、教会では毎週礼拝が献げられ

るようになり、伝道活動が行われていたからです。しかも、エパfrasはコロサイの町だけに留まっていたのではありません。ラオデキヤにも伝道に行き、群を形成したからです。世の中ではこういう人のことを「やり手」と申します。しかし、聖書はこういう人のことを指して、次のように語っています。パウロの言葉を借用しますが、「私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです」(「コリント15・10b」)がそうです。多く働いたのは、神の恵みです。すなわち、キリストの善き知らせに生かされることです。聖霊に生かされることです。

### 三、聖霊による喜び

エパfrasはどのように伝道したのでしょうか。「それは、エパfrasに授けられた賜物です」と言ってしまったら、それまでですが、私たちにも当てはまる部分があるはずで、そこを聴いていきたいです。すなわち、きょう開いた箇所書かれています。聖書の他の箇所から聴き取ってみたいと思えます。イエス・キリストを信じた私共が、まだ救いに与っていない方々に及ぼすことのできるものとして、聖霊、すなわち神の霊による喜びが挙げられます。ローマ人への手紙に、**14・17** 神の国は、飲み食いでではなく、聖霊によって

与えられる義と平和と喜びなのです。〉(新共同訳)という聖句があります。この聖句が語る〈飲み食い〉はユダヤ人キリスト者が、教会員になった後も守っていた食物規定のことを指しています。が、あえて適用範囲を広げたいと思えます。〈飲み食い〉は楽しいものでもっとも、私たちの教会はお酒を飲まない伝統を引き継いでおりまして、それは基本的に良いことだと思えます。人は酒を飲みますと、疲れが取れる面もありますが、自分を失い、言っていないことを語り、世の人々と同じように文句を言い、人の批判を始めるようになるからです。私たちはキリストを信じることによって救われますが、罪赦された罪人であることを忘れてはなりません。ですが、聖霊によっていただく喜びは、世がもたらすものとは次元が異なります。何せ、神との間に平和があります。神がキリストにあつて私を受け入れておられるという確信があるからです。それが、〈聖霊によって与えられる義と平和と喜び〉です。こればかりは、自分でつくり出すことができません。ですが、イエス・キリストを受け入れますと、賜物として授けられます。エパfrasが、聖霊による喜びに溢れていたことは間違いありません。

皆さま。福音に、十分に生かされ、主と共に歩んでください。